

竹刀検量の観点一覧表

項目	順	部分	観 点	詳 細	対 応
容 姿	①	全 体	折れたり、割れたり、ささくれている。	削らないといけないもの。	理由を述べて返却
			虫食い、傷がある。		
			先皮のところで、竹に隙間がある。	先ゴムが大きすぎる。	主任確認
	②	異 物	柄を下にして、床に数回落とす。	ちぎり、先ゴム以外が入っている。	理由を述べて返却 主任確認
	③	先 皮	先皮が破れている。	隙間から、先ゴムが見える。	
			先皮が薄くなっている。	先ゴム・竹が見えている。	
			先皮と竹の間に隙間がある。	先皮が大きいものを使用している。回転する。	
			つる・鉢巻に破損がある。		
	④	中 結	ゆるんだり、切れたりしていないか。	4・5周巻いてあるもの。	
			固定してあるか？	先端の方へ動かしてみる。	
⑤	つ づ くる	ゆるみ、すりきれがある。	中結が簡単に回転する。つるにたるみがある。		
		柄の上のところで、竹刀に巻きつけている。			
		中結を固定するための結び目が見えている。	中結をその地点にする。ただし、中結の位置は適正な場所にする。		
⑤	柄	滑り止め（ゴム等）や模様のない無地のもので、白色か。			
		破れていないか。			
		柄が必要以上に濡れている。	小手以外の部分→主任に確認。	主任確認	
検 量	⑥	長 さ	検量箱で確認する。	全長114cm以下。 （男女共通・付属品も含む）	理由を述べて返却
			全長の約1/4の位置にある。	1/4の位置＝28.5cm±5cmを目安とする。	
	⑦	太 さ	検量箱で確認する。	ゲージを当てた際に落ちないこと。 ※先皮が、必要以上につぶれていないこと。	
先皮の太さが適正であるかチェックする。			ゲージを越えていること。		
⑧	重 量	男子440g以上 女子400g以上。	デジタルのはかりで数値がでる。		
検 印	⑨	検 印	刃部のつば元に検印シールを貼る。	シールは1種類のみ（大会期間中は同じものを使用する）。	
返 却	⑩	返 却	合格の竹刀をまとめて返却する。	返却する場合は、理由を述べて返却する。	

